

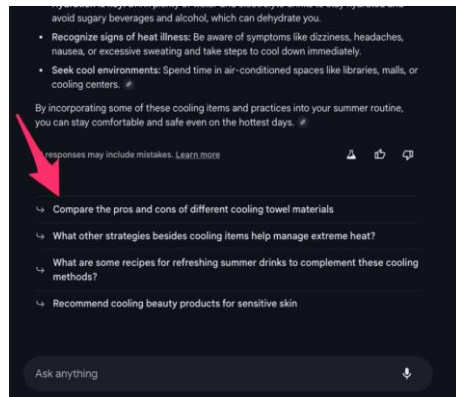
AI Modeがフォローアップ質問をサジェスト、AI Modeの利用促進に一役買うか？

AI Mode がフォローアップ質問をサジェストするようになった。

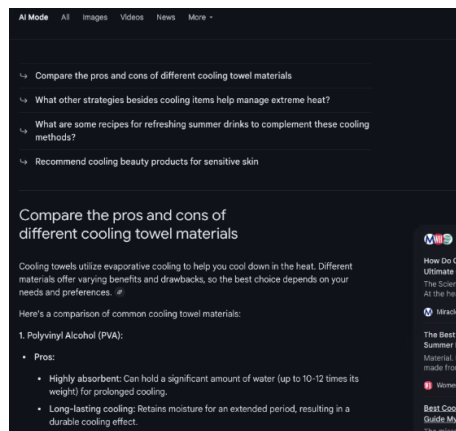
AI Mode がフォローアップ質問をサジェストするようになりました。

追加質問を提案する AI Mode

こちらは「cooling items for summer」(夏の冷感アイテム)を AI Mode に質問したときに提案されるフォローアップ質問です。



いちばん上の「Compare the pros and cons of different cooling towel materials」(いろんな冷却タオル素材の長所と短所を比較してください)を選択しました。
AI Mode は、この質問について続けて回答します。



フォローアップ質問の数はだいたい 3 ~ 4 個です。
同一のクエリでも、そのときによって内容は変化します。

AI Modeがフォローアップ質問をサジェスト、AI Modeの利用促進に一役買うか？

AI Mode がフォローアップ質問をサジェストするようになった。

日本語でもフォローアップ質問をサジェスト

英語しかサポートしないはずの [AI Mode](#) をトリックを使って日本語で利用した場合でも、きちんと日本語でのフォローアップ質問を提案してきました。回答も日本語です。



ちなみに、サイドパネルに掲載される関連コンテンツは日本語サイトからです。
これを見ると、日本語の AI モードの準備が進んでいるように思えます。

フォローアップ質問が提案されると AI Mode の利用回数が増えそうです。
自分では思い付かなかったけれど、気になることを知れるきっかけにもなります。
AI Mode の利用促進と滞在時間延長に大きく貢献するでしょう。

Google、AI Modeの展開を拡大。米国ではWorkspaceユーザーに、インドでは一般公開

Google は AI Mode の利用対象ユーザーを拡大しています。米国では Workspace ユーザーにも展開した。インドでは一般公開した。

Google は AI Mode の利用対象ユーザーを拡大しています。

米国では Workspace ユーザーにも展開しました。

またインドでは一般公開しました。

Workspaceユーザーも AI Mode を利用可能に

米国では 2025 年 5 月に[全ユーザーに AI Mode が提供](#)されました。

[Search Labs](#) からのオプトインは必要ありません。

しかし、Google Workspace アカウントは例外でした。

パーソナルアカウントもしくはログオフした状態で AI Mode が使えていました。

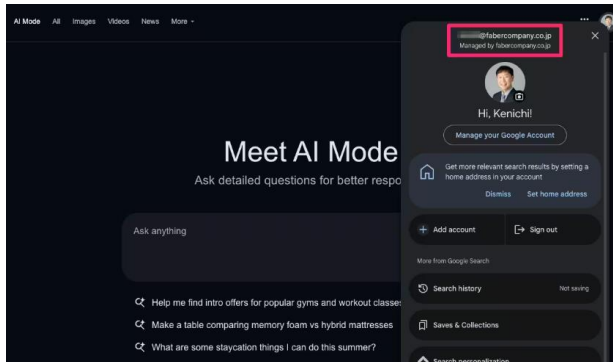
今月(7月)始めに、検索部門の責任者である Nick Fox(ニック・フォックス)氏が Workspace アカウントでの提供を米国で開始したことを発表しています。



Google、AI Modeの展開を拡大。米国ではWorkspaceユーザーに、インドでは一般公開

Google は AI Mode の利用対象ユーザーを拡大しています。米国では Workspace ユーザーにも展開した。インドでは一般公開した。

フォクス氏が言うように、Faber Company で管理されている僕の Workspace アカウントでも AI Mode にアクセスできるようになっていました。



インドで AI Mode を一般公開

一方インドでは、オプトイン不要で全ユーザーに AI Mode が開放されました。

オプトインユーザーだけを対象にした試験公開からわずか 2 週間後の一般公開です。

試験公開する意味あった？とも思ってしまうくらいのスピード展開です。

ただし、英語で、パーソナルアカウントという条件は付きます。
米国とは異なり、Workspace アカウントでは利用できませんでした。

AI Mode の提供を Google は着実に進めています。
AI Mode が日本語にも一部対応していることが判明しています。
日本での公開が待ち遠しいですね。

画像でAI Mode検索、Circle to searchとGoogleレンズとの連携

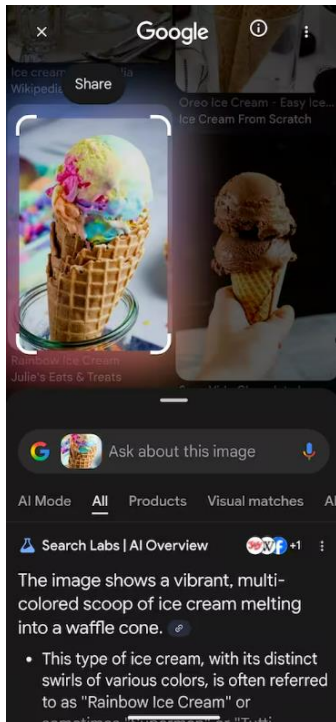
Circle to Search から AI Mode を利用できるようになった。

[Circle to Search \(かこって検索\)](#) から [AI Mode](#) を利用できるようになりました。

Google レンズを呼び出して AI Mode 検索

スクリーン下部のナビゲーション バーを長押しして、Circle to Search を起動したところです。

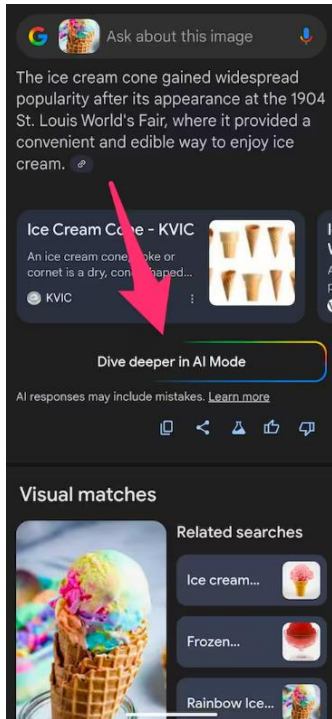
Google レンズを通してその画像に関する概要を AI Overview が生成しています。



Circle to Search で指定した画像について AI Mode で検索するには、2 とおりの方法があります。

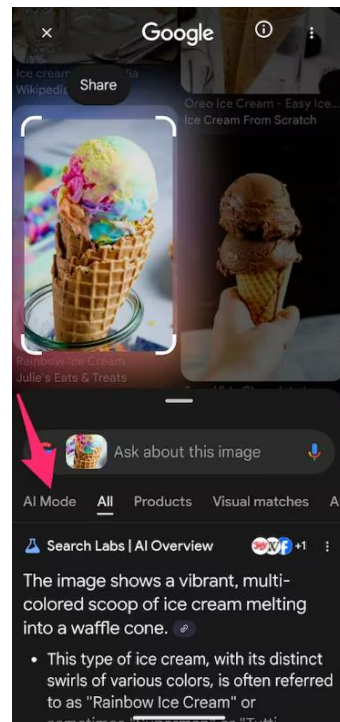
画像でAI Mode検索、Circle to searchとGoogleレンズとの連携

Circle to Search から AI Mode を利用できるようになった。



1つ目は、AI Overview の概要の下に出てくる「Dive deeper with AI Mode」ボタンをタップする方法です。

この方法では、AI Overview を展開して概要をすべて表示させる必要があります。



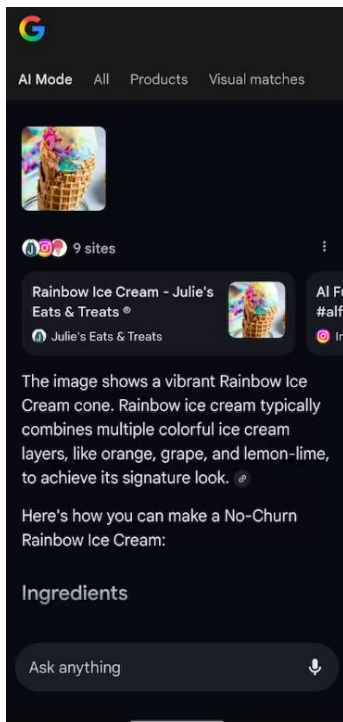
もう 1 つの方法は、AI Mode のタブをタップする方法です。

この方法では、AI Overview を無視して AI Mode に即座に切り替えられます。

画像でAI Mode検索、Circle to searchとGoogleレンズとの連携

Circle to Search から AI Mode を利用できるようになった。

どちらの方法でも、Circle to Search で指定した画像について AI Mode が回答します。



つまり、Circle to Search と Google レンズ、そして AI Mode による 3 つの機能の連携です。

クエリをテキストで入力するのではなく、画像そのものから AI Mode で検索できます。

なお、Circle to Search を介さずとも、Google レンズを起動してカメラで物体を写しながらの AI Mode 検索も可能です。

いずれは、画像のアップロードにも AI Mode はサポートするのではないのでしょうか？

また、今のところスマホですが、PC でも画像対応するとも予想できます。

お気に入りのニュースサイトをトップニュース枠で優先掲載する「Preferred sources」をGoogleが試験公開

自分のお気に入りのニュースサイトからの記事を優先的に Top stories に掲載する機能を Google は試験的にリリースした。

自分のお気に入りのニュースサイトからの記事を Top stories に優先的に掲載する機能を [Google は試験的にリリース](#)しました。

指定したニュースサイトの最新記事をより頻繁に読める

Top stories は、日本の Google では「トップニュース」のことです。

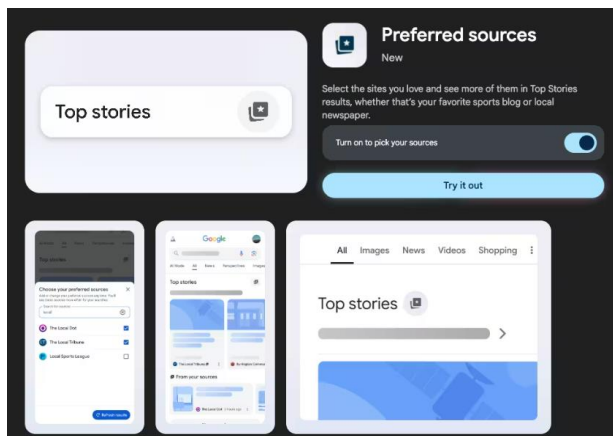
最新ニュースが掲載される専用のブロックです。

Top stories に掲載される記事は、Google が自動で取得します。

しかし、試験機能の「Preferred sources」を利用すると、ユーザー指定したニュースサイトからの記事をより頻繁に掲載するように設定できます。

Preferred sources は試験機能です。

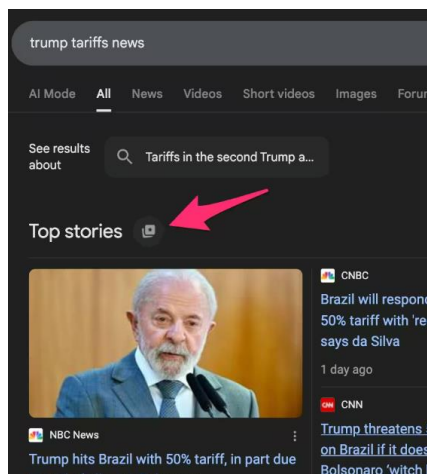
[Search Labs からオプトイン](#)してから利用します。



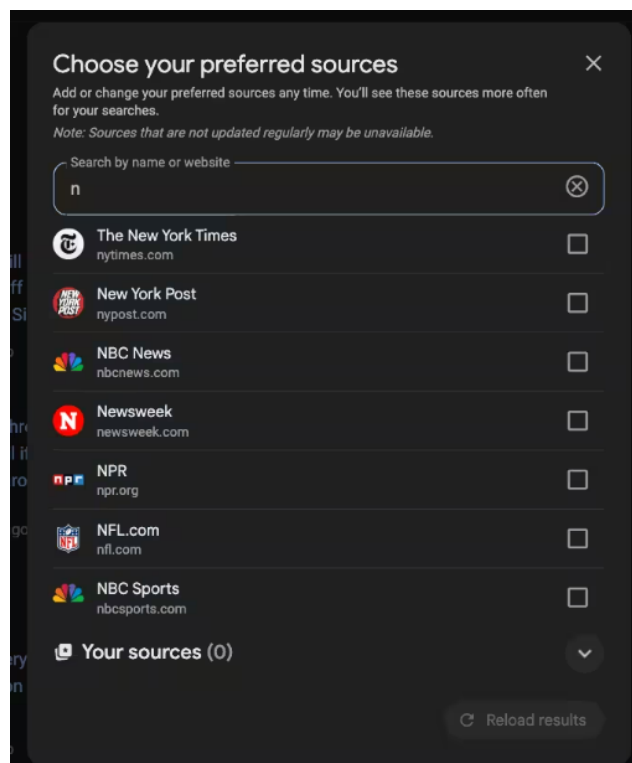
お気に入りのニュースサイトをトップニュース枠で優先掲載する「Preferred sources」をGoogleが試験公開

自分のお気に入りのニュースサイトからの記事を優先的に Top stories に掲載する機能を Google は試験的にリリースした。

オプトインすると、Top stories ラベルの横に専用のアイコンが表示されます。



このアイコンから任意のニュースサイトを選択できます。



お気に入りのサイトにチェックを入れれば以降はそのサイトからのニュース記事が Top stories に優先的に掲載されるようになります。

お気に入りのニュースサイトをトップニュース枠で優先掲載する「Preferred sources」をGoogleが試験公開

自分のお気に入りのニュースサイトからの記事を優先的に Top stories に掲載する機能を Google は試験的にリリースした。

米国・英語での提供

Preferred sources 機能は、米国の英語ユーザーが利用できる試験機能です。

日本では利用できません。

もし日本でも提供されたとしたら、ニュースサイトへのトラフィックに影響が出る可能性があります。

多くのユーザーに Preferred sources (日本語だと「お気に入りのソース」?) に登録されれば掲載機会が増えトラフィックも増加するでしょう。

逆に登録されなければ、掲載が減少しトラフィックが減りそうです。

もっとも試験機能なので正式導入される保証はありません。

進展があればお伝えします。

AI時代のデジタルマーケティング特集：今すべきことは？ 将来に備える姿勢は？【海外&国内SEO情報ウォッチ】

Web担当者Forum の連載コーナー「海外&国内SEO情報ウォッチ」を更新。AI が生活に浸透していくなか、SEO やデジタルマーケティングに携わる人は、何に気を付け、どう考え、どんな姿勢でいるべきなのか？

[Web担当者Forum](#) の連載コラム、「[海外&国内SEO情報ウォッチ](#)」を更新しました。

今週のピックアップは AI 特集です。

- ・ ゼロクリック時代の新常識。今、マーケターが追うべき「トラフィック以外」の指標
- ・ HubSpotのCEOが語る「AI検索の台頭」と「SEOの“崩壊”」
- ・ 日本トップのSEO有識者が語るAI検索の実情と将来
- ・ AI時代に注力すべき5つのSEO戦略
- ・ ウェブに突如現れた新手の「AIリトリバーボット」がもたらす影響とは？
- ・ AI生成コンテンツと人間が書いたコンテンツに検索順位の差はなし!? ← 重要な点を見逃してる！



ほかにも、ウェブサイト運営や SEO に役立つ、次のような情報を取り上げました。

- ・ グーグル検索におけるURL構造のベストプラクティスのドキュメントが刷新
- ・ noindexページでもGooglebotがJSを実行しレンダリングをするようになる
- ・ 2025年6月のオフィスアワー：AI Overviewの広告、サイトリニューアル後にアクセス数減少、サイトマップの毎日送信など
- ・ グーグル、「2025年6月のコアアップデート」を展開開始。順位変動は発生しているのか？

こちらからどうぞ。

- ・ [AI時代のデジタルマーケティング特集：今すべきことは？ 将来に備える姿勢は？【SEO情報まとめ】](#)

ChatGPTの結果がLLMスパムに汚染され始めた

ChatGPT で、スパムの横行が顕在化し始めているようだ。

ChatGPT で、スパムの横行が顕在化し始めているようです。

ハッキングサイトと期限切れドメインから引用

[Digitaloft の James Brockbank\(ジェームズ・ブロックバンク\)氏によると](#)、最近の調査で、ChatGPT が特にオンラインカジノや賭博産業において、ハッキングされたウェブサイトや期限切れドメインで再公開されたサイトを推奨情報のソースとして使用していることが明らかになりました

スパムサイトを参照元とした ChatGPT の引用は、Google 検索において特に信頼性が重要視される YMYL 領域も例外ではありません。

ハッキングされたサイトからの引用には次のような例が発見できました。

- ・ ハッキングされたサイトに掲載されたリスト記事に基づいてオンラインカジノを推奨
- ・ カリフォルニアを拠点とするドメスティックバイオレンス (DV) 専門の弁護士のウェブサイトがハッキングされ、そこに公開されていたカジノのレビューページが ChatGPT が推奨
- ・ 国連関連の若者主導組織のグローバルネットワークである Paradigma Coalition のサイトにある同様のカジノ記事が引用
- ・ 米国のサマーキャンプのウェブサイトに、白い背景に白い文字を使ってカジノへのリンクが隠されたページが含まれていた

期限切れドメインスパムからの ChatGPT の引用には次のような例が発見できました。

- ・ 以前は BBC や CNN からのバックリンクを持ちドメイン評価が高かった芸術慈善団体のドメインが再取得され、そこでホストされているサイトが GamStop に非加盟のカジノを現在は宣伝
- ※すずき補足: GamStop は英国が組織するギャンブル依存対策プログラム
- ・ 薬物・アルコール乱用防止の慈善団体やバッグの小売業者などの期限切れドメインがあり、これらすべてがオンラインのブックメーカーを推奨するために転用

信頼性の低い引用の理由

ブロックバンク氏は、操作されている信頼性の低いサイトの情報を ChatGPT が引用してしまう理由を次のように推測しています。

- ・ ChatGPT の評価プロセスがドメインの権威性と認識されるものに大きく依存しており、トピックの関連性や所有者の変更を適切にフィルタリングしていない
- ・ 最近の日付のソースを好むという最新性を重視する傾向が ChatGPT にあり、これらの操作されたページは新たに公開されている

ChatGPTの結果がLLMスパムに汚染され始めた

ChatGPT で、スパムの横行が顕在化し始めているようだ。

SEO 専門家も問題視する ChatGPT のスパム推奨

Lily Ray(リリー・レイ)氏も、ChatGPT がスパムサイトを引用してしまう現状を**問題視**しています。

ChatGPT は確実に拡大しつつあるスパム問題を抱えています。

Profound のデータによると、「健康保険」カテゴリでChatGPTが最も引用しているページは、最初のスクリーンショットで確認できます(※必ず注:この引用の下に掲載)。

これらのページの多くは信頼できる権威あるブランドのものですが、Ahrefs によれば、少なくとも 1 つは極めてスパム的で、Google からのトラフィックをまったく獲得していません。

Google は数年前、YMYL(Your Money, Your Life)コンテンツ「健康保険」など一に対して E-E-A-T を導入し、怪しげな商品を扱うスパムサイトが「おすすめの健康保険会社」のような YMYL クエリに表示されないようにしました。

それにもかかわらず、2025 年の Google のスパム／品質フィルターを絶対に通過できないようなサイトのページを ChatGPT は頻繁に引用しており、そのページはこのカテゴリで 10 番目に引用数が多くなっています。

この問題は今後 OpenAI にとって大きな課題になると私は見ており、問題が避けがたく拡大するなかで彼らがどう対処するのか非常に興味深いです。ユーザーが健康や医療に関する質問をした際に、ChatGPT が低品質でスパム的なウェブサイトを参照するようでは、ユーザーにとって良いことはありません。






























Google が専任のウェブスパムチームを設置し、最終的に「E-E-A-T」を導入せざるを得なかった理由に OpenAI が気付くのはいつになるのでしょうか。

ChatGPTの結果がLLMスパムに汚染され始めた

ChatGPT で、スパムの横行が顕在化し始めているようだ。

Top Citation Pages

Explore the most referenced web pages in AI answers

Rank	Page	Category	Mentioned	Count
1.	 forbes.com/advisor/health-insurance/best-short-term...	 Earned		801 +267
2.	 valuepenguin.com/short-term-health-insurance	 Earned		544 +237
3.	 money.com/best-dental-insurance/	 Earned		520 -44
4.	 moneygeek.com/insurance/health/best-short-term-h...	 Earned	 No Data	507 +300
5.	 incentifi.com/wellness-word/top-insurance-wellness...	 Earned	 No Data	444 +275
6.	 goodrx.com/insurance/alternative/what-is-indemnity-...	 Earned	 No Data	406 +268
7.	 healthinsurance.org/obamacare/aca-health-plans-inc...	 Earned	 No Data	337 +61
8.	 healthinsurance.org/glossary/fixed-indemnity-health-...	 Earned	 No Data	334 +121
9.	 uhc.com/dental-vision-supplemental-plans/hospital-a...	 Earned		297 -219
10.	 besthealthbeats.com/top-5-health-insurance-plans-for...	 Earned	 No Data	293 +189
11.	 blog.corehealth.global/top-5-us-wellness-health-insu...	 Earned	 No Data	292 +97

学術論文にこっそりと仕込まれた「AIだけが読める」隠し評価という、いわゆる“プロンプト インジェクション”の LLM 操作も発見されています。

AI 企業が LLM スпамに今後どのように対策していくかにも注視する必要があります。